

「日本と世界が出会うまち・堺 2019」研究発表会

日時	2019年11月17日(日) 13:30-18:20	場所	堺市立東文化会館メインホール
主催	堺市博物館 大阪大学歴史教育研究会	後援	大阪府教育委員会
協力	堺ユネスコ協会 「日本と世界が出会うまち・堺 2019」プロジェクト研究会		
開催趣旨	<p>本研究発表会は、堺市博物館と大阪大学歴史教育研究会の共催事業として、堺の国際交流史などにスポットをあてた「日本と世界が出会うまち・堺 2019」プロジェクトとして実施しています。このプロジェクトは、2013年から7年連続で実施しており、中学生・高校生による研究を公募し、発表会を開催するというものです。</p> <p>堺は、今年7月、ユネスコ世界文化遺産に登録された百舌鳥古墳群が造営された古代以来、アジアをはじめとする多彩な国際交流の歴史を持っています。とりわけ、15世紀から17世紀にかけては、日明貿易、琉球貿易、南蛮貿易、朱印船貿易などの国際交易で繁栄し、「日本のベニス」と呼ばれました。千利休に代表される茶の湯文化なども、この時代に大きく花開きました。</p> <p>次代を担う中学生・高校生を対象に、このような堺の国際交流の歴史やユネスコ世界文化遺産などをテーマとした研究発表を行うグループを公募。本日は12グループに発表をしていただきます。この研究発表会は、多彩な研究発表を通して、日本や世界の歴史に対する理解を深めるとともに多文化共生の心を育み、アジアをはじめ世界各地との新たな架け橋となる人材の育成をめざして開催するものです。どうぞ最後まで、中学生・高校生グループの研究発表をお楽しみください。</p>		

本日のプログラム

13:30	開会	司会者からの開会のご挨拶、進行説明など				
時間	順番	グループ名	研究人数	本日参加	テーマ概要	形式
13:40	14:00	研究発表1番 大阪府立三国丘高等学校 放送研究会	3	3	共生	パワーポイント
14:00	14:20	研究発表2番 堺市立三原台中学校	8	8	堺のPR	パワーポイント
14:20	14:40	研究発表3番 帝塚山学院高等学校 歴史研究部 チームSYAMISEN☆	4	4	三味線	発表実演
14:40	15:00	研究発表4番 帝塚山学院中学校 歴史研究部 チームOKOU☆	4	2	お香	パワーポイント
15:00	15:20	研究発表5番 金蘭千里高等学校 歴史研究部「MNR」	6	5	住吉祭	パワーポイント
15:20	15:40	研究発表6番 帝塚山学院泉ヶ丘中学校 堺の鉄砲調査隊	3	3	鉄砲	パワーポイント
15:40	16:00	研究発表7番 金蘭千里中学校 歴史研究部	4	4	お茶	パワーポイント
16:00	16:20	研究発表8番 関西大学中等部 フィールドワーク部 鳥井駒吉探究班	5	5	鳥井駒吉	パワーポイント
16:20	16:40	研究発表9番 関西大学中等部 フィールドワーク部 鉄道班	4	3	南海電車	パワーポイント
16:40	17:00	研究発表10番 関西大学高等部 フィールドワーク部 堺歴史探究版	4	4	日比屋了珪	パワーポイント
17:00	17:20	研究発表11番 大阪府立高津高等学校 地歴研究部	6	6	古墳	パワーポイント
17:20	17:40	研究発表12番 帝塚山学院泉ヶ丘高等学校 We Love 堺	3	3	堺と外国	パワーポイント
17:40	18:00	休憩	20分間(この間に審査)			
18:00	18:20	審査結果発表	審査結果発表、表彰式、講評			
18:20	閉会	閉会のご挨拶				

研究発表グループ及びそれぞれの研究概要

時間	受付番号	グループ名	研究人数	本日参加	テーマ概要	形式
研究概要						

13:40	14:00	研究発表 1番	大阪府立三国丘高等学校 放送研究会	3	3	共生	パワー ポイント
-------	-------	------------	----------------------	---	---	----	-------------

渡日する外国人との共生とは

コンビニや店舗で若い外国人が働いている光景は当たり前になっています。日本語を学び頑張っている彼女らの日常と将来はどのようなものなのか。私たちは、堺で住み、学び、働く人々取材し、渡日する外国人の現状と課題そして将来私たちが日本で共に豊かに生きるためには何が必要であるのか、探りたいと思いました。

堺市は大阪府第二の政令指定都市であり、ベトナム総領事館があり、アセアン諸国のイベントが行われるなどの特色があります。この堺が特にアジアから来日する若い外国人にとって魅力的な地域となることを目指すことは、より活気ある「世界が会うまち 堺」につながると考えます。

今年日本では、入国管理法が改正され今後ますます働く外国人の増加が見込まれます。日本で住み、学び、働くなら堺が素晴らしい、と言われるような豊かに共生できる街になる提案をめざしたい。

14:00	14:20	研究発表 2番	堺市立三原台中学校	8	8	堺のPR	パワー ポイント
-------	-------	------------	-----------	---	---	------	-------------

「修学旅行先で堺のまちをPR」

堺市立三原台中学校49期生は、ふるさとである堺市をPRし、郷土愛を高める事を目的として、2年間活動してきました。

1年次に堺市について学び、2年次では修学旅行先である長野県について学びました。体験活動として、長野県の野菜や特産物を堺市役所前で販売し、地域の方との交流を行いました。

そして、3年次には長野県で堺の特産物を販売し、現地で堺の魅力をPRしました。生徒と現地の方々の触れ合いを通して、地域間交流を行いました。他県の方に地元を知って頂く活動を通して、自分の街が認められ、自分の街が好きになっていく様子を、当日お伝えします。

14:20	14:40	研究発表 3番	帝塚山学院高等学校 歴史研究部 チームSYAMISEN☆	4	4	三味線	発表 実演
-------	-------	------------	---------------------------------	---	---	-----	----------

三味線がつかなく堺と世界

メンバーの中で「三味線」を弾いてみたいという声があったので、三味線について詳しく知りたいと思い、調べてみることにしました。そして、堺から三味線が全国に広まっていったということを知り、世界とのつながりはどうなっていたのか、なぜ堺から広まっていったのかなどの様々な疑問が浮かんできました。

そこで、「なぜ三味線は堺から栄えていったのか」という疑問を中心に、世界とのつながりを考察し、他の楽器との比較を通じて発表を行います。また、実演も行い、実際の「音」や「もの」を比較することも検討しています。

14:40	15:00	研究発表 4番	帝塚山学院中学校 歴史研究部 チームOKOU☆	4	2	香道	パワー ポイント
-------	-------	------------	----------------------------	---	---	----	-------------

堺とお香について

私達は、日本の伝統文化の一つである、「香道」に興味を持ちました。しかし、現在では茶道や華道と比べるとあまりメジャーな文化ではないように思います。日本の香道は南蛮貿易で堺の町に香木が伝来したことで、盛んになったのではないかと考え、今回調べてみたいと思いました。香道がどのように受け継がれてきたのか、どのようなお香が使われ、どのようなやり方で香道が行われていたのか、ということ、体験や調査を通じて研究していきたいです。

時間	受付番号	グループ名	研究人数	本日参加	テーマ概要	形式
研究概要						

15:00	15:20	研究発表 5番	金蘭千里高等学校 歴史研究部「MNR」	6	5	堺まつりと住吉祭	パワー ポイント
-------	-------	------------	------------------------	---	---	----------	-------------

住吉祭の今と昔～「祭り」の変化に注目して～

私たちは、住吉祭について研究を行います。住吉祭は、毎年7月下旬から8月1日にかけて行われる、住吉大社の祭事で、古代から現在にいたるまで、長い歴史を持っています。特に、8月1日に行われる神輿渡御は、この祭りのクライマックスで、住吉大社から、堺の宿院頓宮まで神輿が運ばれます。住吉祭を扱った先行研究では、近現代のことについてはあまり研究がなされていません。なので、私たちは近代（明治～大正期）の住吉祭について、堺博物館が発行されている史料集、『住吉祭・神輿渡御と堺』を基に研究を進めました。発表では、興味深い史料を紹介するとともに、そこから浮かび上がってきた当時の祭りの様子、およびその見学者たちについて、現代との比較を交えながら考察していきます。

15:20	15:40	研究発表 6番	帝塚山学院泉ヶ丘中学校 堺の鉄砲調査隊	3	3	鉄砲	パワー ポイント
-------	-------	------------	------------------------	---	---	----	-------------

堺の鉄砲と戦国の世

種子島に伝わり、長篠の戦いで初めて使われた鉄砲。鉄砲は堺で作られていた！？ 南蛮人が日本にもたらした武器。それを製造した堺の鍛冶職人、そして戦いに使用した織田信長をはじめとする戦国大名たち。鉄砲の伝来によって、日本はどう変わったのであろうか。ポルトガル人が日本にもたらした変化と、日本、戦国大名、そして堺とのつながりに迫ります！

15:40	16:00	研究発表 7番	金蘭千里中学校 歴史研究部	4	4	お茶	パワー ポイント
-------	-------	------------	------------------	---	---	----	-------------

BC2700-AD2019 お茶が描いた4700年の時

堺といえば千利休。千利休といえばお茶。私たちは、日ごろから何気なく飲んでいる、お茶にまつわる歴史と、様々な文化について研究をしました。おおまかなお茶の歴史を述べたあと、発表メンバーの一人が中国に住んでいたことがあったので、その経験を活かしつつ、現代日本と、お茶の歴史の原点ともいえる、中国のお茶の淹れ方などの文化的な違いについて考察します。考察にあたっては、実際に中国のお茶を仕入れ、飲み比べも行いました。そのほか世界のお茶文化についても少しだけ紹介します。他国との比較を通じて、日本のお茶文化の特徴とは何なのか、その本質に迫ります。

16:00	16:20	研究発表 8番	関西大学中等部 フィールドワーク部 鳥井駒吉探究班	5	5	鳥井駒吉	パワー ポイント
-------	-------	------------	------------------------------	---	---	------	-------------

酒造業界の革命家「鳥井駒吉」～駒吉の目に映った世界市場～

堺は、鳥井駒吉という人物が生まれた都市である。鳥井駒吉は大阪麦酒会社の初代社長である。これはアサヒグループの前身である。彼はバルセロナ万博で今まで樽で販売されていた清酒を瓶詰め販売し、日本酒を世界に知らしめることになった。まさに酒造業界の革命家である。堺を起点に「常に新しいことに挑戦する」を経営理念として酒造業に「革新」を与え、世界に羽ばたいた人物である鳥井駒吉の事績を追いかけていきたい。

16:20	16:40	研究発表 9番	関西大学中等部 フィールドワーク部 鉄道班	4	3	南海電車	パワー ポイント
-------	-------	------------	--------------------------	---	---	------	-------------

阪堺鉄道の初期機関車の来歴とゆくえ～黎明期・南海鉄道の知られざる歴史～

部活動で鳥井駒吉の事について調べている中で、阪堺鉄道（現在の南海電気鉄道）の設立に携わっていたことがわかった。我が鉄道班でさらに調べてみるとイギリスやドイツ製の蒸気機関車が走っていたことがわかった。なぜ、この二国の蒸気機関車を輸入したのか、その経緯について調べ、これをきっかけに南海の草創期の知られざる歴史を探してみたい。

時間	受付番号	グループ名	研究人数	本 日 参 加	テーマ概要	形式
研究概要						

16:40	17:00	研究発表 10番	関西大学高等部 フィールドワーク部 堺歴史探究版	4	4	日比屋 了 瑠	パワー ポイント
-------	-------	-------------	-----------------------------	---	---	------------	-------------

堺の中心で了瑠を叫ぶ

堺には、多くの宣教師が布教に訪れている。その際、彼らの世話をしたといわれる人物が日比屋了瑠である。

了瑠は、キリスト教を理解し宣教師たちに援助を行ったとされていたが、当時の堺ではキリスト教への理解は乏しく、一向宗や日蓮宗を始めとする仏教が信仰されており、了瑠の娘日比屋モニカの結婚を巡る奈良屋事件が発生するなど、堺の仏教信仰は、キリスト教を信仰する日比屋一家にも影響があった。この時からキリスト教と仏教の対立が表面化したといえる。また、この事件の裏側には当時の会合衆とも関係があり、キリスト教が堺の自治都市運営に何らかの影響があったのではないかと私たちは考えた。了瑠の一生、その一族の系譜と事績をひもとく中で、自由都市「堺」の姿を浮き彫りにしていきたい。

17:00	17:20	研究発表 11番	大阪府立高津高等学校 地歴研究部	6	6	古墳	パワー ポイント
-------	-------	-------------	---------------------	---	---	----	-------------

認識の変化から考える古墳 ～古墳の存在意義とは？～

今年7月、伝仁徳天皇陵古墳などを有する百舌鳥古市古墳群の世界遺産登録が決定した。現在では古代の墓であることが認知されているこれらの古墳であるが、一昔前にはどういう認識だったのか、というところに興味を持った。

そこで、古墳が日本の歴史においてどのように扱われ、どのような存在だったのか、という観点に着目し、戦乱の時代や明治維新などの時代の転換点を通して現在までの古墳の認識の移り変わりを調査する。ここでは、図書館から借りた歴史に関する本と学校にある参考資料からの文献調査や、実際に古墳へ行き、博物館・資料館を訪問する現地調査から得た資料などを用いて研究を行う。また、前述のことを踏まえた上で世界遺産登録後の古墳の存在意義やそれを保存していく我々がどのような認識を持って古墳と接していくべきなのかを考察する。

17:20	17:40	研究発表 12番	帝塚山学院泉ヶ丘高等学校 We Love 堺	3	3	堺と外国	パワー ポイント
-------	-------	-------------	---------------------------	---	---	------	-------------

リーフデ号

みなさん、リーフデ号をご存知ですか。実はリーフデ号という船が堺に来ていたのです。リーフデ号はオランダから来た船で、その中にイギリス人も乗っていたそうです。そこで私たちは、オランダ・イギリス・日本の三国の関係やリーフデ号が到着してからの堺の発展、世界へとどう繋がっていくか。また、その当時の時代背景や輸出入した物、この出来事が堺へ何をもたらし、それ以後の堺にどんな影響を与えたのか。貿易港が作られた経緯、周りの環境や他の港との違いや共通点などを調べます。